

# VII 実践報告フォーラム 2014

## ■ 開催概要

- ◆ 日 時 : 平成 26 年 2 月 9 日 (日) 10:00~16:30
- ◆ 場 所 : なごや地球ひろば 2 階 セミナールーム A・B
- ◆ 参加者数 : 一般参加者 111 名、受講者 37 名、JICA10 名、NIED 5 名、合計 163 名  
(一般参加者内訳: 教員 71 名、学生 15 名、行政・教育委員会職員 8 人、その他 17 人)
- ◆ ファシリテーター: (特活) N I E D・国際理解教育センター 伊沢令子  
研修受講者

## ■ フォーラムのねらい

- ① 【研修者】 実践報告、モデルプログラムのファシリテートと参加者との意見交換を通して、実践の自己確認、総括を行い、ネクストステップへの意欲を高める。
- ② 【参加者】 実践者の成果と課題を共有し、自らの実践のヒントとネットワークを得てもらう。
- ③ 【主催者】 開発教育・国際理解教育を推進し、研修事業の次の参加者を広げる。

## ■ プログラムの内容

### ● セッション1 「導入と実践報告ポスターセッション」 10:00-12:00

#### 1. あいさつ・2つの研修の概要説明 10:00-[13]

- ◇ 主催者 (JICA 中部八重樫次長) が主催者あいさつを行う。
- ◇ 開発教育指導者研修 (実践編) および教師海外研修プログラムの概要をパワーポイントで JICA 中部の職員が説明する。

#### 2. アイスブレイキング 10:13-[21]

- ◇ フォーラムのねらいとプログラムについてファシリテーターが説明する。
- ◇ 受講者 1 人と一般参加者 2 人の 3 人グループになり、次の 3 つ項目でお互いを紹介し合う。自己紹介項目…①わたしはこんな人 ②気になる地球や地域の課題 ③受講者: 持ち帰ってほしいもの、参加者: 今日の期待。

#### 3. 38 人ポスターセッション (実践報告) 10:34-[65]

- ◇ 前半 40 分の 19 人、後半 40 分の 19 人に分けて、拡大した実践報告シートや参考教材等を使いポスターセッション (実践報告) を行う。10 分間を一つの区切りとし 1 人 3 セッションの報告や質問を行う。



#### 4. 午後のワークショップの案内 11:55-[5]

- ◇ 午後からのテーマ別ワークショップの参加希望を挙手で確認し、希望者の多少を共有したうえで人数調整を参加者にお願する。

- 休憩 - 12:00-[65]

## ● セッション2 「テーマ別ワークショップ体験」 13:05-15:25

### 1. テーマ別ワークショップ ① (A～Cチーム) 13:05-[60]

◇ 3つの会場に分かれて、以下のA～Cチームがワークショップを実演する。詳細はP.76～78を参照。

- A分科会 (テーマ: 多様性) … 「みんながってみんないい」
- B分科会 (テーマ: 貧困) … 「安さの向こうに何が!？」
- C分科会 (テーマ: 環境) … 「象の森とポテトチップス」



◇ 移動 10分

### 2. テーマ別ワークショップ ② (D～Fチーム) 14:15-[60]

◇ 3つの会場に分かれて、以下のD～Fチームがワークショップを実演する。詳細はP.79～81を参照。

- D分科会 (テーマ: 生き方) … 「いつ気づくの?今でしょ?」
- E分科会 (テーマ: 進路) … 「Yes, we can!!」
- F分科会 (テーマ: しあわせ) … 「笑顔でしよう! 幸せ宣言」



◇ 移動 10分

## ● セッション3 「海外研修報告・ふりかえり」 15:25-16:30

### 1. 教師海外研修報告 (ガーナ) 15:25-[23]

◇ 同行ファシリテーターによるチーム紹介後、次の流れで海外研修報告を行う。

- ① ガーナダンスで入場後、会場を巻き込みながらガーナクイズ
- ② ガーナで出会った国際貢献している日本人をスライドやビデオ映像で紹介
- ③ 研修の様子を音楽に乗せてスライドショーで紹介
- ④ ガーナ研修で学んだこと短冊を見せながら一人一言で紹介



### 2. 教師海外研修報告 (ラオス) 15:48-[22]

◇ 同行ファシリテーターによるチーム紹介後、次の流れで海外研修報告を行う。

- ① 会場を巻き込みながらラオスクイズ
- ② ラオスで学んだことを、「医療問題」「ラオスで活躍する日本人」「廃棄物問題」「JICAの取組み」のテーマごとにスライド・ビデオを使い発表
- ③ ラオス研修の感想を、スライドを見せながら一人一言で紹介



### 3. ふりかえり・閉会 16:10-[20]

- ◇ フォーラムのふりかえりを各自シートに記入する。
- ◇ 受講者を代表して山崎恭兵さんが、閉会のあいさつを行う。

※ 閉会后 30 分間、参加者と受講者が自由に歓談、交流を行う。